



もっと元気な安佐北区へGO！

# まさクンの市議会通信

<発行> 広島市議会議員

山内まさあき  
事務所

(所属会派：市民連合)  
事務所：安佐北区口田1-6-1  
TEL 082-843-1972  
FAX.082-843-1986  
第2号/2011年11月発行



2011年度9月議会 補正予算4億1851万6千円の概要		
地域支え合い体制づくり事業	4234万円	大規模災害に備え、り災証明発行や義捐金受け取りを円滑にするシステム構築、地域社協の活動拠点の整備補助。
佐伯区地域福祉センター管理	91万8千円	施設管理の指定管理にともなう債務負担行為設定（将来の財政負担となる債務負担をする場合予算として定めること）
介護保険事業	7685万2千円	地域支援事業支援交付金返還金（2010年度清算分）
国民健康保険事業	8030万4千円	国民健康保険料過誤納還付金の増による追加額
民間保育園整備補助	1億7964万円	待機児童の解消を目的とし、下記の2園を新設。 二葉保育園（仮称）定員60、清風保育園（仮称）定員40人
鳥獣被害防除施設設置事業	1096万2千円	金網柵等の防除施設の設置経費補助。 白木、飯室、鈴張など市内6カ所を実施予定。
旧広島市民球場跡地の活用	84万9千円	跡地の活用方法について、22名で構成される検討委員会を設置し、意見を聴く。
路面電車の軌道敷緑化	1650万円	広電「原爆ドーム前停留所」周辺40メートルの軌道に芝生を敷設して緑化。魅力的な都市景観づくりが目的。
広島空港アクセス対策事業	1051万1千円	広島空港へのアクセス向上のため、リムジンバス運行の社会実験。広島空港～宇品、広島空港～平和大通りの2区間。

## 9月定例議会（9月15日～29日） 保育園新設などの補正予算を可決

9月定例会では、上記の補正予算（4億1851万6千円）が可決されました。主なものでは、民間保育園の新設が県の補助金を活用して、取り組まれることになりましたが、待機児童対策はまだまだ不十分で、強めなければなりません。

障がい者福祉についても、対策強化が必要です。例えば、高齢者を受け入れるケアホーム・グループホーム・ショートステイは増えてきていますが、障がい者を受け入れる体制のある施設は広島市にはまだ多くはなく、障がい者やその両親の高齢化という課題も目前に迫っています。

9月議会では、市民連合の議員が会派を代表して、障がい者の福祉施策について外出時の移動支援の拡充やケアホーム事業者の運営を支援する施策などを取り上げました。下記はその一部を抜粋したものです。

### 市民連合の一般質問

（質問）現在、重度障がい者向けに実施されている外出支援サービスは居宅（自宅）から出発し、居宅に帰着する場合に利用できるが、イベントに参加した場合など必ずしも自宅を起点・終点としない場合も利用できるようにすべきではないか。

（答弁）現在、国において検討が行われている。国の対応状況を踏まえながら、対応を考えたい。

（質問）ケアホームの事業者に対する運営費補助について、広島市は独自の施策を講ずるべきではないか。

（答弁）現在、市が保有する未利用地・建物の貸与や、国の制度を活用した助成などをしている。今後も適切な報酬単価の設定など、国に求めていきたい。

# 山内議員は決算特別委員会（10月4日、27日）で 有害鳥獣対策と雇用対策について発言

## 山内議員の一般質問

### 有害鳥獣対策の強化を！

広島市議会では議会運営の都合上、毎議会では全議員が一般質問を行いませんが（会派の代表者が質問を行います）、委員会では全議員に質問する権利があります。

山内議員は決算特別委員会の第一分科会で有害鳥獣対策と雇用施策の2点について質問しました。



第一分科会で質問する山内議員

（山内）有害鳥獣による被害が増えている。これまでも本市は、防護柵の設置補助などの対策を講じてきたが、被害は一向に減らない。「防護柵・網での対策はもはや限界だ」という声も地域にある。2011年度、広島市はどのような対策を講じたか。

（経済局）今後、被害を減らしていくためには駆除を強化していくことが必要と考えます。2011年度からは新たに、農業者による箱わな捕獲を許可するとともに、この箱わな設置補助の創設や捕獲報奨金の増額などの拡充を図りました。

（山内）今年度から新たに箱わな設置補助を行っているということだが、この箱わなへの期待は非常に高く申し込みが相次いでいる状況だ。補助枠の拡大を願いたい。

一方で、箱わなは重さが100kgを超える場合もあり、設置には危険がともなう。また、子どもが箱わなの周辺や中で遊ぶ危険性も考えられる。対策はどのように講じているのか。

（経済局）農業者が所属する自治会と連名で申請することを条件とし、地域への周知を行うとともに、注意喚起を促す表示を行うことや見回りを行うことを条件としている。また、講習会により安全な設置方法の普及に努めている。

### 求職者の実態に即した支援策を！

（山内）長引く景気低迷を受けて、店をたたまざるをえない自営業者が年々増えてきている。こういう方々は年齢が高くなっている方も多く、その場合は就業先がなかなか見つからないため、シルバー人材センターにまで、生活のための職を求めて駆け込んできている状況があると聞く。

政府の事業仕分けでシルバー人材センター事業への国庫補助金が削減されたが、本市シルバー人材センターへの影響はどうだったか。

影響はでていない。

（山内）シルバー人材センター事業は退職後の生きがいづくりの場としても、ニーズがある。安定した事業運営が継続されるよう引き続き、本市としても尽力をお願いしたい。一方で、シルバー人材センターで得られる配分金は一人当たり平均月額4万円に満たないにもかかわらず、それでも「登録させてほしい」と駆けてくる方がいる。その多くは、自営業を廃業せざるをえなくなった方や、退職をさせられたが年金は当分の間支給されない、など、目の前の生活費にも困窮しておられる方々である。本市ではハローワークの事務・権限移譲について政府に提案した（10月7日の新聞報道）とのことだが、どのような提案を行ったのか。

（市民局）就労支援を本市

で行うことができれば、生活・福祉などの総合的な支援をワンストップで提供できるようになるなど、求職者本位の体制が実現できるため、将来的にハローワークの事務・権限を本市に移譲することが望ましい。しかし、人員の移管や財源移譲など解決すべき課題もあるため、最初のステップ案として、当面の措置として、

区役所に当該区民を対象としたハローワークのサテライト窓口を設置し、ハローワークの職員が常駐する、

本市職員をハローワークへ派遣し、雇用保険業務や各種助成金の支給等、事業主向けサービスについても経験を積む、などの体制をとり、権限移譲に備える。

(山内) どのくらいの間での移譲を見込んでいるのか。迅速に進めるべきと考えるが、どのような手順で進めるのか。

(市民局) 国のアクションプランによると、一体的な実施を3年程度行い、権限移譲を検討することになっているが、これにとらわれず、できるだけ早急に実現できるよう国・県と協議していく。

(山内) 引き続き、できるだけ早期の実現を目指してほしい。

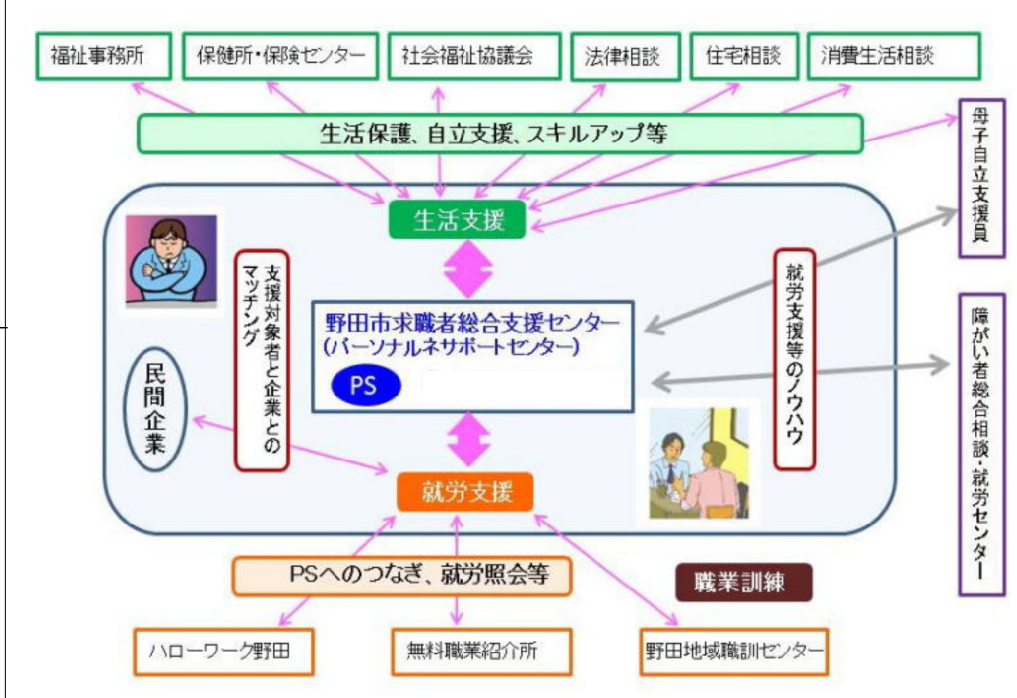
### 市民に寄り添った就労・生活支援を

山内議員は先述のとおり、ハローワークの事務・権限を市に移譲する取り組みについて、決算特別委員会の質問に取り上げました。なぜなら、雇用に関する施策は国(厚生労働省)よりも、地方自治体が担うべきだと考えるからです。例えば、現在広島市でも生活保護受給者が増加していることが指摘されています。この背景

には「中・高齢になると就業先の確保が困難になってくる」という問題があり、「働きたくても働く場所がなく、生活保護に頼らざるをえない」という方が増えている問題があります。

就労を支援するには、ただ単に「職業訓練を提供する」だけでなく、身に付けたスキル(技能)を發揮できるような「就労機会を開拓する」ことも必要になります。すし、求職者と就労先のマッチ

千葉県野田市の包括的な就労・生活支援(パーソナルサポート事業)



チングを図ることも必要になります。

また、就労できない期間が長引くと多重債務や住居を失うなど、2次・3次のトラブルをも抱える可能性もあります。

上のチャート図は、千葉県野田市が取り組んでいるもので、市民の「生活」や「就労」に関する問題解決の支援を、専門家である相談員(パーソナルサポーター)が、制度や仕組みの「縦割り」を超え、必要な支援をマンツーマンで継続的に行う取り組みです。

「寄り添い型・伴走型の支援」として包括的な支援、すなわち「人によるワンストップ・サービス」を行いながら、最終的に就労して安定的な自立生活を営めることを目指しています。

広島市においても、同様の取り組みの早期実現が求められます。

住みよい街づくりをめざして  
今年も要望を提出（一部抜粋）

- 「安芸矢口駅のバリアフリー化を」
- 「矢口川水門の増強を早く！」
- 「下深川駅のバリアフリー化を」
- 「中深川交差点の改良を」
- 「広島三次線・中深川から上深川間の渋滞解消を（4車線化を!）」
- 「上深川交差点の歩道の拡幅を」
- 「虹山団地西入口の交差点改良を」
- 「柏木橋の架け替えを」
- 「ショーゴ白木店から白木山橋方面の路側帯拡幅を」
- 「可部旧街道の街並み保存を」
- 「井原・志屋小学校の存続を」
- 「高陽・可部・緑井間の循環バス路線の整備を」
- 「白木から可部・バスセンター方面へのバス便・増設を」
- 「白木地区に総合医療施設を」
- 「戸坂～安芸矢口間に新駅設置の検討を」
- 「芸備線のダイヤの増便を」
- など



今年も約200通の要望が届きました。



皆さまの声を宮川区長へ提出

つしみ信夫前市議の在任中から、地域の方々と一緒に取り組んできた「安佐北区を住みよくする会」の予算要求活動は今年で30回目を迎えました。

# 予算要求書を区長に提出 安佐北区を住みよくする会

8月に各戸へアンケートはがきを配布し、今年も約200通の返信をいただきました。これらの要望について、現地調査と取りまとめに1か月あまりを要しましたが、10月27日に宮川区長に要望書を提出しました。

左記は特に多くのみなさまから寄せられたご要望です。今年だけでなく、何年にもわたり要望を続けてきた事項も多数あります。



区政や市政について、理事者と区民で意見交換を行いました。

実現までに困難を要する課題も多くありますが、ネバーギブアップの精神で、住みよい街づくりに取り組みます。

要求内容の詳細については、社会新報安佐北版に記載して、来年1月頃に配布させていただきます。

## 毎週日曜日に市民相談会を開催

毎週、下記の時間帯は必ず事務所におります。  
そのほかの日時は所要のため事務所にはない場合もありますが、いる場合は常時、受け付けております。  
毎週日曜日 午後5時～7時  
場所：山内まさあき事務所（安佐北区口田1-6-1）  
TEL 082-843-1972 FAX 082-843-1986

## さようなら原発・1000万人署名にご協力ください

内橋克人さん、大江健三郎さん、落合恵子さん、鎌田慧さん、坂本龍一さん、澤地久枝さん、瀬戸内寂聴さん、辻井喬さん、鶴見俊輔さんが呼びかけ人となっている、市民の会による署名活動に取り組んでいます。  
同封の署名用紙にご記入の上（ご家族・ご友人にもお声かけください）、山内まさあき事務所までご返信ください。